

愛媛大学医学部附属病院 センター・施設のご紹介

お気軽にご相談ください

最先端技術のリハビリテーション治療



愛媛大学は松山市と共同で「次世代医療福祉産業の定着・創出に関する調査研究」に取り組んでいます。現在、愛媛大学医学部附属病院では、その一環でロボットスーツHAL (Hybrid Assistive Limb) を活用したリハビリテーション治療に関する臨床研究を行っています。HALと

は、筑波大学と大学発のベンチャー企業・サイバーダイナミクス社が開発した世界初のサイボーグ型ロボットで、リハビリテーション支援や身体訓練支援、自立動作支援などの分野で利用が期待されています。本実験は、筑波大学の協力のもと、本院リハビリテーション部が中心となり地域の他機関とも連携しながら進めています。今後は、身体面で困難を抱えた方にご協力をいただきながら、治療効果の検証等を行っていく予定です。

こうした産官学の共同研究によって、次世代医療・福祉産業の地域への定着と拡大に繋がりたいと考えています。



愛媛大学地域創成研究センター TEL: 089-927-8653 FAX: 089-927-8820
松山市地域経済課 TEL: 089-948-6710 FAX: 089-934-1844

クリスマスコンサートを開催



平成19年12月25日(火) 外来棟正面玄関ホールでギター演奏によるクリスマスコンサートを開催しました。会場には入院患者様を中心に約80人がつめかけ、愛媛大学教員アコースティックギターバンドメンバーの法文学部教授2人と、愛媛大学ギター部の学生2人による繊細なギターの音色に耳を澄ませていました。会場に訪れた人たちからは暖かい拍手が寄せられました。

医療サービス室(患者サービス担当)
TEL: 089-960-5099
FAX: 089-960-5134

院内保育所「あいあいキッズ」



平成19年4月に職員の子育て支援を目的に敷地内にオープンした「あいあいキッズ」では、平成20年1月現在24人の子どもたちが毎日元気に遊んでいます。平成19年10月に(財)愛信会から寄附を受け、子どもが遊ぶ庭に芝生を張りました。また、同年12月7日(金)には、看護部が院内でバザーを実施し、売上金を遊具購入資金として寄附するなど、子ども達の成長を見守っています。

人事労務室職員チーム
TEL: 089-960-5129 FAX: 089-960-5131
URL: <http://www.hsp.ehime-u.ac.jp/aiiakids/index.html>

“すこやか健康相談／あいナビステーション”がスタート

昨年11月28日(水)、愛媛大学と松山市の協定の一環として、いよてつ高島屋7階わくわくプラザに、市保健所と協働した健康相談窓口「すこやか健康相談／あいナビステーション」を設置しました。ここでは、本院の看護師や社会福祉士が市保健所の職員とともに、地域の皆様からの医療福祉の相談に無料で応じます。買い物のついでなどお気軽にお立ち寄りください。(オープン日時/水・木・金・土・日 10:00~17:00、なお電話相談は行っていません)

少子高齢化や医療・介護制度等の変化に伴う住民の方々の疑問や不安の受け皿として、また、住民の方々のニーズをとらえるためのアンテナ及び情報発信拠点としてこの「あいナビ」をさらに充実させて参りたいと思っております。

◎問い合わせ先:
医療福祉支援センター
TEL: 089-960-5322
FAX: 089-960-5959
E-mail: sien@m.ehime-u.ac.jp

編集後記

新春おめでとうございます。INVITATION誌の2008年第一号をお届けします。今回は、松山市内に設置した健康相談窓口「あいナビステーション」を表紙に、愛媛大学が力を入れているがん治療に重要な緩和ケアセンターの設立、最先端技術を用いた介助ロボットの開発など、大学が得意とする共同研究や協働事業の話題を紹介しました。愛媛大学病院は高度の診療能力に加え、研究や創意工夫を通して患者様が明日への希望を抱くことのできる病院でありたいと願っています。本年もよろしくお願いたします。

◎愛媛大学医学部附属病院広報委員会
委員長 檜垣実男

◎表紙の人
左 友川 礼 社会福祉士
右 小畑理恵 看護師
—— あいナビステーションにて ——



愛媛大学医学部附属病院

〒791-0295 愛媛県東温市志津川 Tel.089-964-5111 (代)
ホームページ <http://www.hsp.ehime-u.ac.jp/>